

WITH TOYO



応募方法は採用HPをご覧ください。

東陽監査法人 定期採用サイト
<https://www.toyo-career.com/>



定期採用サイト

公式Twitter
@Crowetoyo_rec

PHILOSOPHY

社会的使命の追求

財務情報の信頼性を確保するという社会的使命を全うする



Core Purpose

- 財務情報の信頼性確保という社会的使命を遂行する
- クライアントとのコミュニケーションを大切にしケアを怠らないことで、相互の価値観の共有を醸成する
- 監査法人の唯一無二の財産である人財を、単なる会計・監査の知識だけではなく情熱に溢れる人財に育て、社会的使命を果たすことによって広く社会に貢献する



Core Values

- Care** クライアント・構成員及び品質管理について常にケアを怠らない
- Share** クライアント・構成員と常に高い価値観を共有し、高い品質管理を確保する
- Invest** クライアント・構成員について常にアップデータした情報を提供するために自己投資を行う。それによって高い品質を確保する
- Grow** クライアントとともに成長し、構成員の成長によって当法人のより高度な品質を醸成する

TOP MESSAGE

CARING and SHARING

ケア、そして価値の共有へ

クライアントおよびスタッフに対して
常にCaringとSharingを心がける。
財務情報の信頼性の確保という
社会的使命を全うするために、
私たちはこれからも休むことなく
努力を続けて参ります。



東陽監査法人 理事長
佐山 正則

監査法人の社会的使命は財務情報の信頼性を確保することです。社会的使命を全うするために、私たちはクライアントとのコミュニケーションを大切にしています。私たちはクライアントとの意思疎通を常に心がけ、ケアを怠りません。このような地道な働きかけの積み重ねは、やがて相互の価値観の共有を醸成します。価値観の共有は、クライアントとの意見の対立を未然に防ぎ、真の意味における高度な監査品質を実現します。ひいては財務情報の信頼性の確保に繋がるでしょう。

監査法人にとって唯一無二の財産は人財です。私たち公認会計士に求められるのは、単なる会計・監査の知識ではなく、財務情報の信頼性の確保という社会的使命を全う

しようとする強い姿勢と不断の覚悟です。情熱に溢れた優れた人財を育て、社会的使命を果たすことによって広く社会に貢献していく、これが私たちの目指す監査法人です。

それゆえ、クライアントとの密なコミュニケーションはもとより、スタッフとのコミュニケーションも重要であると考えています。風通しの良い組織であることが良好な人間関係を生み、適確な情報に基づいた価値の共有を促進します。昨今ワークライフバランスや働き方改革に見られるように、新しい働き方が求められる世の中に変わりつつあります。私たちは従来から多様な働き方を大切にする勤務形態を採用していますが、今後はより一層、時代が求める柔軟な働き方のニーズに適切に対応していきます。

About IPO



IPO監査とはなにか

IPOとは「Initial Public Offering」の略語の事、いわゆる株式公開を指します。現在はコロナ禍ではありますが、IPOを検討している企業数は増加の一方向です。証券取引所に対するIPOの上場申請時においては、直近2期間分の財務諸表に対する公認会計士又は監査法人

による監査意見が求められます。監査法人の役割としては、財務諸表監査のみならず、企業に対して適切な財務諸表監査を受ける為の体制構築についての助言が必要になり、コミュニケーションを密接に行っていく必要があります。

IPOを監査人側から経験することのメリット

受験生の中にはIPOに関わってみたいと思われる方も多いいらっしゃるのではないかと思います。自身、監査法人に入所する際、幅広いキャリアを重ねていこうと思いIPO業務を志望しました。実際に規模も業種も多様な企業と関わることができますし、決算体制のみならずあるべき内部管理体制の構築に向けての助言や問題解決のアドバイスをすることがあります。また経営層ともコミュニケーションを取る機会も多く、共に困難を乗り越え、上場を果たした際には大きな達成感とやりがいを感じます。IPO支援で培った監査スキルや助言や指導といったアドバイザリーにつながるような経験は、企業の成長を支援するだけでなく公認会計士としての自分自身の成長をも図っていく貴重な仕事だと思います。

私もそうでしたが、受験生のときは合格することが最大の目標ですが、合格後は監査人として新たなスタートを切ることになります。企業も株式上場という目標達成後、上場企業として新たなスタートを切ることになります。株式上場がゴールではなく、上場企業としてのスタートであることに同様、皆さんも合格してから、自分がどのような公認会計士になりたいか将来ビジョンをもって就職活動に臨むことが大切だと思います。



監査第2部
マネージャー
阿久津 大輔
2018年10月入所

IPOのやりがい

私が担当していたクライアントが昨年上場に成功し、主査としてIPOに立ち会うことができました。IPOに至るまでクライアントと膝をつめて一つの目標に向かってきた経験は会計士として非常に貴重な体験でした。クライアントと共に課題への対応方法を考えいくことなどは、実際に経験してみるとイメージがつかないものだと思います。特に、最終的な上場審査の段階では、証券会社とのやり取りが出てくることもあり、上場会社の監査業務にはないIPO監査ならではのスケジュール感を肌で感じました。

IPO監査は上場会社の監査業務とは違う「空気感」があります。クライアントの方々が、上場というひとつの大きな目標に向かって、役員も含めた従業員が一丸となっていきいきと仕事をしている姿に、感銘を受けました。また、CFOから直接電話で相談を受ける事も多く、改めて自分がプロとして頼られているという実感がわいたのを覚えています。

東陽では、部門の垣根がないため、上場企業の監査に携わりながら、IPO監査を経験することもできます。IPO監

査、特にそのインチャージ業務は非常に大変ですが、それを経験することで会計士として監査業務以外の道がより具体的に見える、というのは大きなメリットだと思います。例えばスタートアップ企業のCFOへの道やIPOコンサルとしてこの経験を極める道、実際に起業してIPOを目指すという道もあるかもしれませんね。私自身、今回のIPO監査を経験したこと、公認会計士として業務の幅が広がったと感じています。

監査第2部
シニアスタッフ
角田 知亮
2013年1月入所



PERFORMANCE

東陽のIPO実績

現在、準大手監査法人は非常にIPO監査の依頼が多く、IPO監査に携わりたいと考えている方には絶好の機会です。東陽は部門の垣根がないので、手を挙げればIPOのクライアントに実際に携わることができる環境です。

また、IPOに関わる専門的なバックグラウンドがあるメンバーと若手を中心に月一回程度勉強会を行っており、いきなりIPO現場に出ても困らないよう事前に準備できる環境があります。

2021年度IPO実績

8社

(TOKYO PRO Market市場含む)

IPO監査 被監査会社数

26社

監査第1部 TOKYO OFFICE

関与先



所属人員数

パートナー 22名
公認会計士 68名
新試験合格者・会計士補 25名

業界を裏側から支え 監査を通して新たな世界が広がる

監査第1部は、多種多様な幅広い業種の監査先があります。例えば広告、マスコミ、出版、小売、製造業、金融、観光業など、多岐にわたります。広告やマスコミ関係の仕事では、華やかな業界を裏側から垣間見ることもできます。第1部の大きな特徴としては、IPO準備企業のクライアントの多さです。上場に立ち会う感動は、なかなか得難い体験です。昨年入所したばかりのスタッフもIPO準備企業の監査に携わっており、手を上げればすぐに関与できるチャンスがあります。

そして、監査第1部は国際案件が比較的多いことも特徴です。クライアントにはIFRS適用企業もあり、海外のファームで働き帰任したメンバーとも一緒に働く事ができます。将来的には海外で経験を積んでみたいと思っている方はぜひ監査第1部で夢を叶えてください。

東陽全体に言えることですが、一つの事業部にいながらあらゆる規模・業種に携わることで、経験値が高められます。会計士として将来の可能性を柔軟に考えている人には、刺激も多く最適な環境だと言えます。是非、あなたの会計士としてのスタートを東陽で始めてみませんか。

PROFILE

2021年入所
大手監査法人で経験後、税務の経験を積み、現在は東陽にて上場企業の監査チームの主要メンバーとして活躍。

監査第1部
シニアスタッフ
柿澤 佑樹



監査第3部

学校法人等、パブリック向けサービスを展開

監査第3部はパブリック(学校法人や公益法人、一般法人、社会福祉法人等の非営利法人)へのサービスを提供する専門部署です。特に、学校法人分野には力を入れています。少子化が進む近年、私立学校法の改正等により、学校法人に対しても経営効率を高め、ガバナンスの強

化が求められる傾向が強まっています。

経験豊富かつパブリックに精通したメンバーによって構成され、会計監査のみならず、法人運営支援・会計指導など、幅広い業務を経験することができます。

所属人員数 パートナー 3名、公認会計士 6名
関与先 法定監査他7社、任意監査22社、
学校法人監査23社、労働組合監査20社

監査第2部 TOKYO OFFICE

関与先



パートナー 22名
公認会計士 86名
新試験合格者・会計士補 25名

横断的な業種の経験を積み 会計士としての総合力を高める

監査第2部も、監査先は他業種にわたりますが、強いて言えば金融や交通インフラ系の関与先が多くあります。金融に関して、準大手監査法人の中ではめずらしくその分野でも多岐に渡り、証券会社やファンド、政府系企業のクライアントに関与しています。金融監査は、より専門的な知識が求められますが、東陽は部門で業種を分けていないため、金融監査で得た知識や考え方を事業会社の監査でも活かすことができます。横断的にあらゆる分野の監査に触れることで、公認会計士としての総合力が鍛えられます。

新人教育においては、実直な指導を心がけています。具体的には、社会人としての礼儀作法はもちろん、クライアントの方への質問の仕方、会計監査六法を積極的に使って調べるなど、自分の手で正しい知識を身に着けられるよう指導しています。また、監査はチームワークが大事なので、お互いの仕事をフォローアップすることや、新人の方が気軽に質問しやすい雰囲気作りを大事にしています。

東陽では、若手の方が基礎から成長し、一人前の会計士に育つ土壤があります。社会人経験がない方も安心して飛び込んできてください。皆さんのが仲間入りする日を待ちにしています。



監査第2部
マネージャー
倉増 典明



ADVISORY SERVICE

アドバイザリーサービス

所属人員数 パートナー 1名、
公認会計士 2名

M&Aや事業再生、内部統制等のアドバイザリーの専門部門

アドバイザリーサービス部門はM&A、フォレンジック、事業再生、コンプライアンス・内部統制といった分野における専門的サービスを提供する専門部署です。企業が直面する合併、グループ再編、企業間紛争など多様、複雑な問題に対応しております。また、世界150ヶ国以上に拠点

を有する提携事務所であるCrowe Globalをとおして、グローバルに活躍する日本企業へのサービスも展開しています。

クライアントと悩みを共に解決するというエキサイティングな経験をすることができます。

監査第4部 NAGOYA OFFICE



東海圏の多種多様な監査先から学ぶ 少数精鋭の若い組織

監査第4部(名古屋事務所)は愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の東海圏が主な活動エリアです。名古屋事務所は名古屋駅から徒歩数分のところに立地しておりアクセス抜群です。30名程の大きくはない組織ですが、20～30代の若いメンバーが多く、昨年度入所したメンバーも、既に新人とは感じさせないくらい監査チームに溶け込んでいます。女性会計士が主査を務める現場も多く、年齢や性別にかかわらず、皆がチームの主軸として活躍しています。

愛知県は自動車を始めとして製造業が多いため、準大手以下の監査法人は業種が偏っているように思われること

もありますが、東陽監査法人の名古屋事務所においては、製造業の他に証券業、小売業、飲食業、サービス業、紡績業、不動産業、学校法人等のクライアントがあります。規模の面でも、東海圏を代表するような東証一部上場の企業から中小企業まで様々です。

パートナーは現場にいることが多く、スタッフとの距離が近いため、新人の頃から多くの事を学べる環境があります。公認会計士としてバランスよく成長したい方にはとてもおすすめです！



監査第4部
シニアスタッフ
三輪 えり沙



PROFILE
2020年入所
大手監査法人で国内製造業の上場企業の監査を中心に経験を積み、東陽へ転職。現在は名古屋事務所の主力メンバーとして監査業務に従事し、リクルーターとしても活躍中。

監査第5部 OSAKA OFFICE



風通しの良い環境で あなたの成長をフルサポート！

監査第5部(大阪事務所)は西日本が主な活動エリアです。事務所の人員規模も50名程度で事務所全体がまとまりやすく、スタッフからパートナーまでフラットな雰囲気で和気あいあいと楽しく仕事をしています。

東陽は、準大手であることからクライアントの規模も中堅や地方の優良企業が多く、業種は、モノづくりのメーカー、サービス業等の営利企業から大学や幼稚園等の公益法人まで非常に幅広く、またIPOを目指しているクライアントも多く担当しております。よって、メーカーと学校法人を担当する等、業種にこだわらず、視野を広く持ち、様々な自分の可能性を模索することができます。

大阪事務所の特徴としては、昔から後輩育成に対して特に熱心に取り組んでいるところだと思います。新人には必ず、マンツーマン指導で先輩がしっかりと丁寧に指導します。入



所後、年次が経つとOJTの育成側になり、教わったり教えたりしながら切磋琢磨し合う土壌があります。やりたいことがある人はどんどん手をあげてください。事務所全体でサポートします！

PROFILE

2018年入所
合格後、大手監査法人にて勤務。省庁への出向などキャリアを積み東陽へ入所。IT監査の推進や、人事系の制度設計など法人全体のプロジェクトにも主軸で携わる。

監査第5部
マネージャー
前田佳久





研修制度

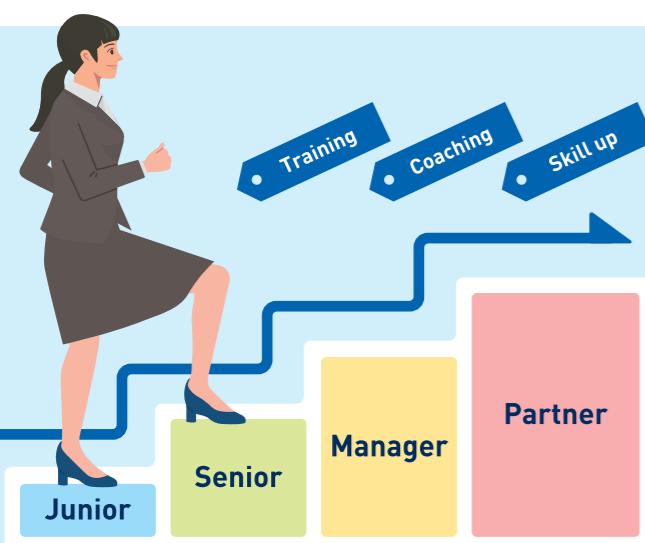
基礎から学ぶ 多角的な研修プログラム

東陽では、新入職員の皆さんのが入所後、監査業務をスムーズにスタートできるよう基礎から学ぶことができる様々な新人研修を実施しています。

例えば、社会人としての心得を身につけるビジネスマナー講座、監査調書の作成実務などの基礎研修、さらには実務に即したExcel・Word講習まで、皆さんのがいち早く監査現場で活躍できる万全なプログラムを用意しています。

入所すぐの新人研修以外にも、8月に夏季研修が行われます。現場を経験した分、新人研修より理解も深まり面白く感じるはず。先輩スタッフとの合同ディスカッションでは論理的思考力も磨かれ、入所時より成長した自分に気付けるでしょう。

また、年間を通して品質管理上重要なポイントもeラーニングで網羅でき、監査知識も適時ブラッシュアップ可能です。



長期的な キャリアアップをサポート

東陽では、職位に応じて必要とされる知識や能力を習得できる職階別の研修の充実に力を入れています。会計・監査に関する講義だけでなく、プレゼン実務やコーチングなど、ビジネスに直結するヒューマンスキルも身につきます。

		人的研修	会計・監査
Junior ジュニア	1~3年目	<ul style="list-style-type: none"> 新入所者研修 ビジネスマナー研修 Excel・Word実務研修 ITパスポート試験対策研修 	<ul style="list-style-type: none"> 会計基準等 サンプリング 監査基礎講座 監査ツール 内部統制 不正事例研究ディスカッション
Senior シニア	4~11年目	<ul style="list-style-type: none"> 論理的思考力養成 アンガーマネジメント研修 リーダーシップ力醸成研修 	<ul style="list-style-type: none"> 会計基準等 監査ツール 監査基礎講座 IT調書作成基礎 内部統制 サンプリング インチャージ研修 モダンExcel
Manager マネージャー	7~15年目	<ul style="list-style-type: none"> クリエイカルシンキング養成研修 講師養成研修 英語プレゼン研修 	<ul style="list-style-type: none"> 会計基準等 インストラクション
Partner パートナー	15年目~	<ul style="list-style-type: none"> 交渉力養成研修 	<ul style="list-style-type: none"> 会計基準等

人的研修	会計・監査
<ul style="list-style-type: none"> 新入所者研修 リーダーシップ力醸成研修 性格診断ツールを用いた自己分析を通して、各人の適性に合わせたキャリアビジョンを確立します。 	<ul style="list-style-type: none"> 監査基礎講座 会計システムや基幹システムの一般例について研修します。
<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマナー研修 交渉力養成研修 クライアントの経営陣とのディスカッションに必要な交渉力を養います。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制/サンプリング 『リスク評価全般とJ-SOXとの関係』やExcel等を用いたサンプリングについて研修します。
<ul style="list-style-type: none"> Excel・Word研修/ITパスポート試験対策研修 監査業務に欠かせないOfficeソフトやITに関する基礎知識を習得できます。 	<ul style="list-style-type: none"> AI/IT/監査ツールを用いた監査実務研修 仕訳テスト等で有用な監査ツールについて研修を行います。
<ul style="list-style-type: none"> クリエイカルシンキング養成研修 マネジメントに必要とされる思考力を磨く為、論理の正しさや課題を検証し、テクニックを身につけます。 	<ul style="list-style-type: none"> インチャージ研修 経営者等とのディスカッションや社内審査、予実管理等のマネジメントについて研修します。

修了考査受験対策		法人負担
初年度の	修了考査専門学校費用 (150,000円程度)	及
		受験料 (28,000円)
特別休暇として修了考査のための	試験休暇 (10日)	自習室の開放 (就業前、終業後、休日)
修了考査試験期間中の	残業抑制	修了考査対策に特化した 勉強会・ 法人内研修の開催

TRAINING SYSTEM

人材育成制度

東陽には新入職員を様々な形で育てていくシステムがあります。初めての仕事には不安になることがたくさんありますが、先輩職員たちが複数名でしっかりサポート。皆さん一人前の公認会計士になるまで、実務面や知識面、さらにはメンタル面もケアしていく仕組みがあります。安心して東陽でキャリアをスタートさせてください。

新人教育システム

OJT制度

職階の違うOJT担当が複数名で監査現場における実務を指導



研修

新人研修やIT研修(Excel・Word)を通し、インプットの強化



メンター制度

豊富な知識と実務経験のある先輩職員との悩み相談の場を通した精神サポート



キャリアアップサポート

修了考査専門学校費用負担

修了考査前の試験休暇 / 残業抑制

修了考査やIT試験の受験料負担

先輩職員による、試験勉強のための質問・相談窓口の設置

自習室の開放

各種資格取得支援制度

出題傾向と対策の共有

INTERVIEW

プロの会計士になりたい
その気持ち、
しっかり支えてくれます

何でも教えてくれるトレーナー

苦労して試験を突破し、せっかく入った監査法人。分からぬことがあったときに、誰に聞けばいいのか悩んでしまっては業務に支障を来すこともあります。

東陽のOJT制度は、自分専属のトレーナーが付いて、気軽な質問や仕事の相談ができます。試験勉強で学んだことと実務の違いに、最初は戸惑いもあるかもしれません、そんな不安をトレーナーが払拭してくれるでしょう。

また、J1～J3まで経験すべき仕事内容が予め決められ、その項目をクリアできたかどうかが自分でも分かるように設定されています。私は期末決算監査を2回経験しましたが、トレーナーのおかげもあって、特に問題なく乗り越えることができましたし、OJT制度による自分自身のスキルアップも実感できています。



「私」を支えてくれる心強いメンター

新人はもうひとり、メンターと呼ばれる「助言者」が支えてくれます。メンターは新人・若手職員の成長を促す役割があって、監査現場での状況を相談できたり、アドバイスをしてくれます。仕事上で関わらない他部門の先輩がメンターになってくれるので、監査法人内での横の広がりを感じられますし、プライベートな話などもして気分の発散ができます。また、他部門ということもあり、監査現場で直接相談できないような悩みについても率直に相談することができ、非常に心強い存在です。他にも東陽には、新人をサポートして育成する仕組みが整っています。



大久保 佑美 監査第2部 ジュニアスタッフ 2020年入所

例えば、補習所の修了考査に向けて、専門学校の授業料が法人負担だったり、東京事務所の場合は、本試験の5か月前には勉強場所として会議室を自習室として提供してくれます。また、試験直前期には仕事量を調整して勉強に専念できるよう配慮してくれるなど、修了考査に集中できる環境が整えられています。私のOJTのトレーナーは、補習所の授業の内容についても快く教えてくれましたし、税務に詳しい方でしたのでとても勉強になりました。

このように、東陽には新人が着実にプロの会計士になる支援制度やさまざまな経験が積めるチーム配属の仕組みがあります。

TOYO's WORK STYLES

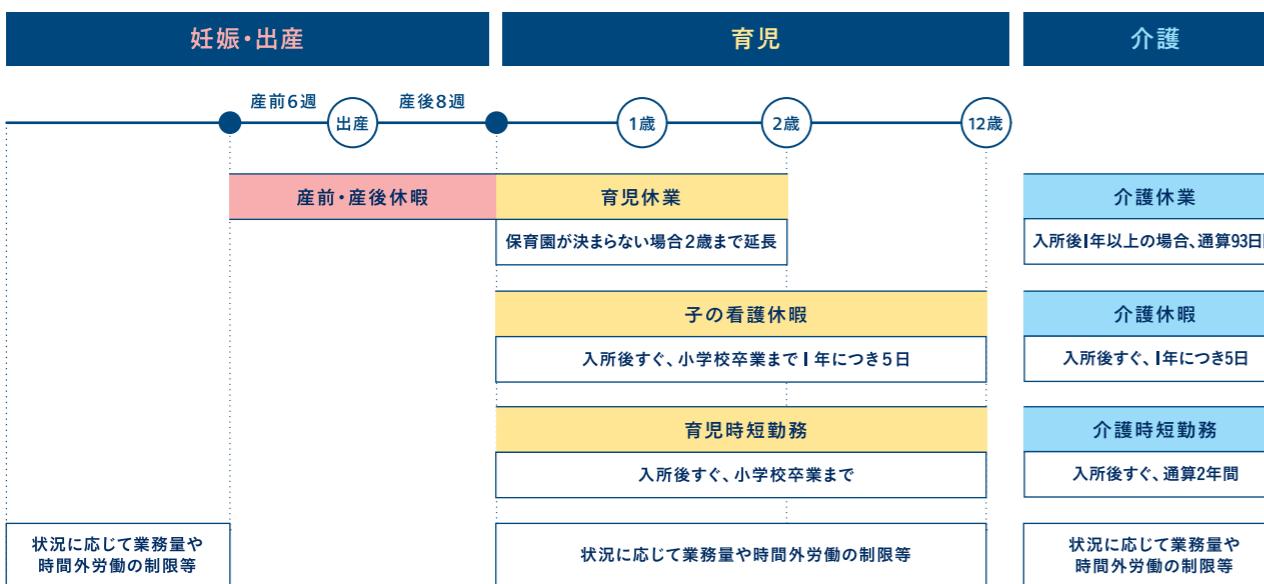
東陽での多様な働き方

「一生プロフェッショナルとして活躍したい」そう思って公認会計士を志した方は多いのではないでしょうか。公認会計士の資格というのは、その期待に応えられる世界が広がっていると思います。一方で、キャリアの長期形成の為には、ライフイベントに応じた働き方を求められる時期があります。東陽では、男女問わず、全ての職員が働きやすく、

キャリアとライフィベントを両立できる環境があります。育児・介護に伴う時短勤務、社会情勢に適応した在宅勤務など制度面の充実はもちろんのこと、お互いを信頼し尊重し合う社風から多様な働き方を認め合う風土があります。東陽ではキャリアもライフプランも両立し、公認会計士として「一生プロ」を目指すあなたをサポートします。

福利厚生制度

出産・育児・介護支援



在宅勤務制度



東陽では、柔軟な働き方を促進するため在家勤務制度が整っています。現在はコロナ禍の影響で、時差出勤や在家勤務を利用することで感染拡大防止に努めています。WEB会議システム等の利用が進み、在家勤務でもスムーズに仕事ができる環境です。

“より働きやすく”を実現する制度

- 時差出勤、時間有休制度で家庭の都合に合わせた勤務形態が可能です。
- 計画有休（メモリアル休暇、リフレッシュ休暇）を設定することで計画的に家族のイベントや旅行を楽しむことができます。



INTERVIEW

畠山 明子 監査第2部 シニアスタッフ 2011年入所



早めに主査を経験し育休へ 周囲のサポートで 安心して復帰できた

父が建築士の家で育った影響か、小さいころから漠然と「専門家」というものに憧れていました。そして自分の人生の上で、結婚出産もキャリアプランとして実現したいと思っていたので、自分の力でキャリアを継続できる専門家へ想いは強くなっていました。「専門家」の中で公認会計士を目指そうと決め、晴れて合格。私の会計士としてのキャリアは東陽からスタートしました。

東陽では、チームメンバーに税務やコンサルに強みを持っている経験豊富な会計士が多く、刺激を受けながら成長できたと思います。また、東陽の規模感が丁度良く、早めに主査も経験できたので、一通り業務がこなせる自信がついた頃に産休に入れた事がよかったです。育休から復帰前の面談で、復帰するチームや復帰後の働き方を相談し、調整もらっていたおかげで、安心して復職できました。

長年の信頼関係で休園も乗り切る
現在は2人目の育休から復帰し、時短勤務をしています。

コロナで保育園が休園になったときも在宅勤務で業務が完結するような調整もスムーズにしてもらえてストレスなく仕事をできました。周りの人の優しさと、長年培ってきたお互いの信頼関係でうまく仕事をまわせていると感じます。もう少し子供が大きくなったら、仕事内容や役割をステップアップさせて、キャリアも積んでいきたいと思っています。そう考えている私の気持ちも上司は汲んでくれていて、徐々にキャリアアップをするような計画をしてくれています。東陽は個人のペースを大切にする社風があるので、私も長く勤めることができます。

振り返ってみて、公認会計士という資格のおかげで、昔自分が思い描いたキャリアビジョン通りに進んでいると感じます。出産・育児後も復帰しやすいし、監査の仕事は何年離れても勘はすぐ戻ると感じました。皆さんが思い描いているライフプランは公認会計士という資格が叶えてくれると思います。安心して目指してください。

Junior

ジュニア

新人でも仕事を任してくれる
監査業務がますます面白い

高校生の頃にたまたま見たテレビ番組に、公認会計士でありながらプロバスケット選手でもある方が出演していました。自分の好きなことをしながら、仕事もしっかりやるという生き方に興味をもったというのが公認会計士を目指すきっかけになりました。東陽監査法人に入りたいと思ったのは、人とのコミュニケーションを大事にしていると感じたからです。私は人見知りなほうですが、ここでならうまくやっていけるかもしれませんと思いました。また、就職するために関西から東京に住むことになり、最初は不安でしたが、同期の仲がとてもよく、色々と気軽に相談できる仲間が心の支えになっています。

仕事では最初に現金や借入金などの科目を担当していましたが、最近では引当金や売上高など新しい科目にもチャレンジさせてもらっています。入所して1年を過ごしてみて、チームの一員として仕事を任せられている実感があります。成長が早い、仕事を任されるという話は入る前に聞いていましたが本当でした。パートナーから直接アドバイスをいただいたときは、しっかりと自分をみてくれていると感じました。とにかく上司・先輩との距離が近く、パートナーからも直接アドバイスをいただけるのが東陽の良いところです。

準大手の監査法人である東陽の魅力は何かと述べますと、まず、業種が異なるいろいろな会社の監査業務に携われるところだと思います。僕は現在、機械メーカー、電子機器メーカー、証券業、サービス業などの会社に携わっており、早いうちから多くのことを学ぶことができました。他には、パートナーやインチャージ、他のスタッフとの距離が近く、話しやすいということが最大の魅力だと思います。東陽に気軽に足を運んでみてください。人の柔らかい、接しやすい方々が迎えてくれると思います。



TOYO Staff Interview

桃原 大輔

監査第1部 ジュニアスタッフ
2020年入所



Senior

シニア

星野 奈々

監査第1部 シニアスタッフ
2019年入所

東陽は多様なバックグラウンドを持つ専門家集団

新卒で半導体関連部材の製造を行う会社の営業職を経て、公認会計士を目指しました。手応えを感じたところで勉強に専念した結果、論文式試験に合格し、大手監査法人に就職しました。9年間ともに充実した監査法人生活を送りましたが、2人の子育てをする中で、柔軟に働き方を選択できる環境を魅力に感じ、2019年に東陽へ入所いたしました。

東陽に転職して感じたことは、様々な経験の方々が集まっている、専門家集団だと思いました。多様なバックグラウンドがある方が多いので、会計士でありながら、経営者や経理経験者からの意見をもらえます。その人材の多様性こそが東陽の魅力であり、強みだと思います。日々の会話から、会計士としてできる事がこんなにあるのだという事を周りに教えてもらい、今後の会計士人生にわくわくしています。

現在の職位はシニアで、上場会社のインチャージ業務がメインです。東陽に入所して初めてIPO監査に関わり、昨年上場をすることができました。上場準備やその後の監査業務の中で、新しい仕事に携わることもでき、会計士として一つ上のステージに上がることができたと感じています。以前から興味があった非営利のインチャージも希望通り、兼務しています。東陽に入所してさらに監査の幅を広げる事ができていると実感しています。

公認会計士という職業は、会計監査以外にも多岐に渡って活躍できるフィールドがあります。選択肢がたくさんあるということは、将来に自由があるということではないでしょうか。子どもを2人産み、産休育休を取得し、働き方を変化させたいと転職ができたのもこの資格があるからこそだと実感しています。もちろん、資格取得はとても大変ですが、人生50年近く働くことを考えると、数年の苦労で豊かな仕事環境を得られると思えば損はないと思います。みなさんを応援しています。



Manager

マネージャー

海外勤務体験で培った 人と人をつなぐ会計士の信頼

大学時代に中国に旅行したことがきっかけで、その後の人生は大きく変わりました。2週間の中国旅行でしたが、この国に興味を持ち、その後語学留学をしたことや、やはりこの国で働きたいと強く思うようになりました。東陽に入った理由も中国関連の業務があったことです。それに東陽に自由な雰囲気を感じました。

入所して6年目、当時シニアスタッフだった私に、中国・上海で働く機会が訪れました。中国の会計事務所との交換留学に選ばれたのです。赴任先で私は中国に進出してきた日本の現地法人を担当。日本の親会社の監査人から



佐々木 健司

監査第1部 マネージャー
2008年入所

の問い合わせ対応の他、様々な現地法人の橋渡し役を担ったのでかなり忙しい時間を過ごしました。苦労もありましたが自分の中の“調整力”が鍛えられたことは間違いません。

帰国後、私はマネージャーに昇格しました。現場責任者であるインチャージと違い、どちらかというと企業の経営陣と直接対話する場面が多いのが特徴です。経営計画や将来展望について企業のトップがどういうマインドを持っているのか、経営者とのコミュニケーションの中でとらえたものを実務に落とし込んでいきます。経営の全体感をとらえて監査業務の方向性を示していくのは、マネージャーの仕事の醍醐味と言えます。

私にとって上海での5年に及ぶ勤務体験は非常に充実したものでしたが、日本に戻ったときに、良い意味で以前と違う東陽の雰囲気を感じました。組織としての仕組みがでかがり、特に若手と中堅の交流が盛んで、仕事がスムーズに進んでいる印象でした。理事長との意見交換会もあり、現場の声を聞いて経営していく仕組みができています。中国赴任に限らず、東陽で働くことで、会計士としての私の可能性は大きく広がりました。海外勤務をしてみたいと思う方は、その意欲を東陽にぶつけてみてください。

Partner

パートナー

プロとしての自覚を持つ人と、 新しい東陽の未来を描きたい

品質管理部長として、私の役割は監査法人全体の品質管理向上に向けた体制を整備することです。品質管理向上に向けては、体制を整備するのみでなく、監査チームの総合力を向上する必要があります。これらのことから、東陽の将来ビジョンを描くうえで“人材の採用と育成”は重要なテーマとなっています。では、東陽の将来を担う公認会計士とはどんな人材なのでしょう。

ひとつは、公認会計士としての基本である「真摯かつ誠実に対応」できることです。クライアントに迎合することなく、かといって杓子定規に対応するわけではなく、公正中立な立場として真摯かつ誠実に対応することが大事なポイントです。もうひとつ挙げると、新人であっても自分の意見をしっかり言える人、判断できる人になるというものです。

TOYO Staff Interview

松本 直也

シニアパートナー/
品質管理部長



監査業務をしていて「おかしい」と感じたことは上司や先輩、クライアントにしっかりと伝えなければいけません。新人の頃から自分で判断する力を養って頂きたいし、そういう人材を育てたいと思っています。

東陽はいま大きな変革期にあり、「公認会計士の採用」は重要な経営施策のひとつです。近年は新卒採用に特に力を入れており、将来のコア人材をしっかりと育てていくことに力を入れています。東陽では、「監査のプロ」を自覚し、やる気を持って職務にあたれば大きく成長できます。社員・職員が「入所したら定年まで、勤め続けたい」と思える法人になるために、働き方やキャリアアップをフォローする仕組みをさらに充実させています。



BACK OFFICE WORK

間接業務特集

東陽監査法人では監査業務以外の様々な分野の業務（間接業務）に携わることができます。監査業務で得た知識を活かす仕事はもちろん、リクルート活動等、一緒に働く仲間を増やす仕事も経験できます。間接業務を通して、普段関わることのないメンバーとも交流を持てます。このページで紹介する業務はごく一部ですが、年次が若い方から関わることができるチャンスがあります。ぜひ興味がある分野を探してみてください。

RECRUIT



リクルート活動



受験生のみなさんには一番イメージがつきやすい仕事です。説明会の運営はもちろんTwitter等広告の提案、パンフレットや動画の作成協力など、Jスタッフ1年目から主力として活動することができます。関わった受験生が入所に至ったときの喜びは非常に大きいものです。また、リクルート活動という大きなイベントをみんなで運営することで同期や別のチームとの先輩とも自然と仲良くなることができます。



パンフレット撮影

PUBLICATION



広報・出版



東陽では会計に関わる数々の専門書を毎年発行しています。希望すれば若い年次から編纂のメンバーになることができます。自分が関わった書籍が世に出る体験を味わう事ができます。法人内には各専門分野の執筆のスペシャリストが数多くいますので、会計の知識も含め吸収することができます。将来的に「自分の本を出してみたい」と考えている方は監査法人内で経験を積むチャンスがあります。

TRAINING



研修

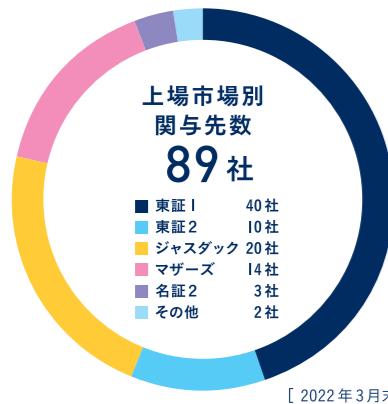


監査法人では各職階で年間を通じて数多くの研修が行われており、大部分は法人内の希望者から講師を選定しています。早ければ修了考査に合格後、研修講師として法人内のメンバーに向けて講義を行ってもらう業務もあります。研修講師としてテーマに応じた講義内容を組み立てる中で、自分自身の会計分野への知識が深まります。また、講義を行う中でプレゼンテーション能力や、わかりやすく伝える力なども磨かれます。どれも会計士としてのスキルを磨く上では身に着けておいて損はないスキル。ぜひ研修講師に手を挙げてみてください。

募集要項 2022



法人概要



人員数では第6位、 クライアント数は301社

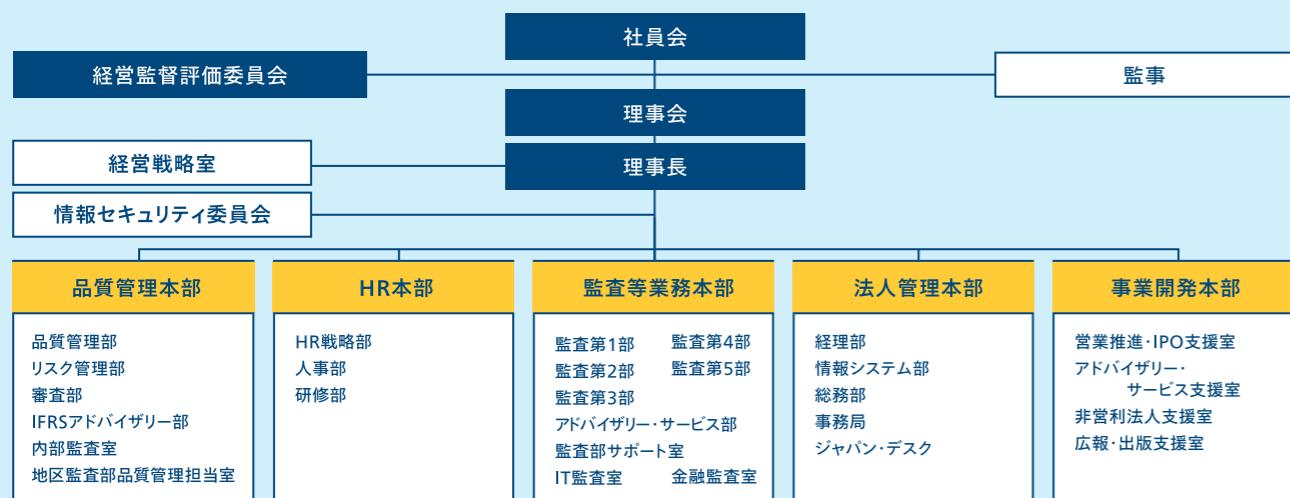
クライアントの特徴としては、製造・小売・金融・鉄道など多業種に亘り、また、学校法人をはじめ、非営利法人も多くあります。スタッフとパートナーの距離も近く、チーム一丸となって監査に臨み、クライアントに対しても意思決定が早いことから、強い信頼関係を構築しています。

法人情報	
名称 東陽監査法人 (Crowe Toyo & Co.)	設立 1971年
出資金 306百万円	理事長 佐山 正則

人員構成			
パートナー	専門職員	事務職員	
代表社員 8名	公認会計士 206名	24名	
社員 58名	新試験合格/会計士補 68名		
	その他専門職員 26名		
合計 390名			

[2022年3月末現在]

組織図



応募資格	公認会計士論文式試験全科目合格者		
採用予定人数	20名程度		
給与	法人規定による(月給320,000円以上)※時間外勤務手当別途支給		
入所時支度金	20万円支給(100km以上の引っ越しを伴う場合は別途30万円支給)		
賞与	法人規定による(年2回／原則として6月、12月)、公認会計士紹介特別報奨金、在宅給付金		
諸手当	時間外勤務手当、通勤手当、休日出勤手当		
昇給	年1回	固定残業代	なし
雇用形態	正社員	勤務時間	10:00～18:00
契約期間	無期雇用	期間の定めなし	休憩時間
時間外労働	あり	勤務地	東京・名古屋・大阪
試用期間	あり(3ヶ月)	受動喫煙対策	あり(屋内禁煙)
募集職種	監査業務及びその他監査関連業務、アドバイザリー業務		
休日・休暇	土・日・祝日(※1年単位の変形労働時間制の運用あり)、年末年始休暇、夏期休暇、試験休暇(実務補習所修了考査等)、メモリアル休暇、リフレッシュ休暇、慶弔休暇(本人の結婚休暇を含む)、子の看護休暇、産前産後休暇、育児休業制度、介護休業制度、家族の介護休暇、育児による時短制度有り(子が小学校卒業まで)、介護による時短制度有り		
研修制度	新人研修(Word・Excel実務演習あり)、コミュニケーションスキル養成研修、監査業務スキル養成研修(主査業務・IT監査等)、継続的勉強会等、様々な研修制度あり		
福利厚生	実務補習所入所料及び補習料、公認会計士協会登録費、公認会計士協会会費 全額法人負担(入所月以降)、修了考査受験時の受験料及び専門学校費用負担(上限あり)、ノートPC・セカンドモニタ・スマートフォン貸与、業務災害総合保険、各種保養施設等利用補助あり、各種部活動あり(テニス、フットサル、スキー・スノボなど)		
各種制度	各種資格取得支援制度、企業型確定拠出年金制度、在宅勤務制度、メンター制度		

入所時支度金とは

定期採用者に **全員20万円支給** されます。支度金の用途は、入所後、

社会人として相応しい身なり(スーツや鞄)を揃えていただくために支給されます。

遠方から上京する方も安心!



また、入所にあたり100km以上の転居を伴う方には

引っ越し代の補助として **別途30万円支給** されます。

就職決定後は多くの費用がかかってしまう事が多いので、学生の方や受験専念の方でも
すぐに社会人としてスタートできるように法人としてサポートしています。